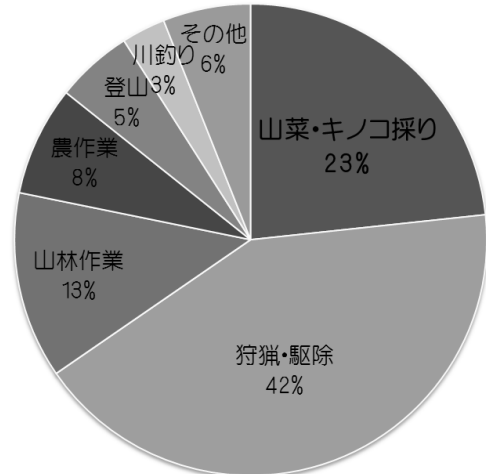
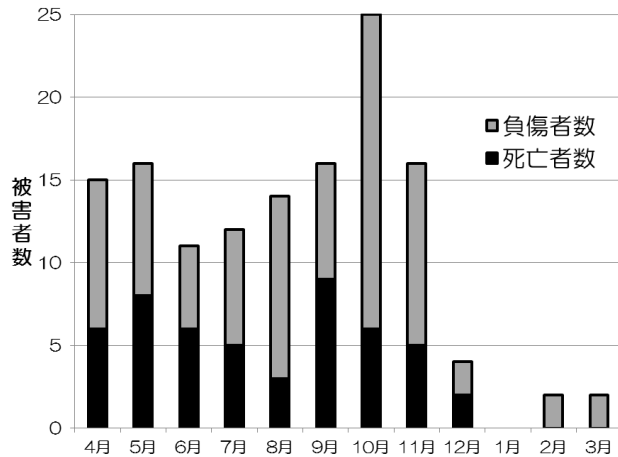


1. 「平成26年 春のヒグマ注意特別期間」について

1. 平成26年 春のヒグマ注意特別期間

平成26年4月5日（土）～5月11日（日）の37日間

ヒグマによる人身被害は、春の山菜採りと秋のキノコ採りの際に多く発生している。



ヒグマによる人身被害の未然防止を図るため、平成14年度から、道民等が山菜採りやキノコ採りなどのため、ヒグマの生息する野山に入る機会の多くなる春と秋に、「ヒグマ注意特別期間」を設定し、ヒグマに対する注意喚起及び被害防止に関する普及啓発事業を行っている。

本年も春の行楽シーズンを迎えるに当たり「平成26年 春のヒグマ注意特別期間」を設定し、事故防止に向けた普及啓発の取組を実施するもの。

2. 注意特別期間における取組

野山における人身被害の防止には、ヒグマとの遭遇を避けるための「基本的ルール」の遵守が最も効果的。

〔野山でヒグマに遭わないための基本的なルール〕

- 事前にヒグマの出没情報を確認する。
- 単独行動を避け、複数で行動する。
- 鈴など音の出るものを鳴らす。
- クマの足跡やフンを見つけたら、すぐに引き返す。

道民への注意喚起を図り、「基本的ルール」の普及啓発を図るため、「春の注意特別期間」中は次の取組等を実施。

- （総合）振興局職員による巡視活動
- 普及啓発リーフレット「あなたとヒグマの共存のために」の配付
 - ・各（総合）振興局、市町村役場、各種ビジターセンター等の来庁者への配付
 - ・コンビニやホームセンター店頭での配布
- 報道媒体を活用した普及啓発
 - ・新聞「みなさんの赤れんが」（新聞4紙）
 - ・NHK地上デジタルデータ放送（安全・安心情報）
 - ・街頭大型ビジョン（札幌市内4箇所）
 - ・STVラジオ みんなの暮らしマメルくん

2. 過去 10 年間（H16～25）のヒグマによる人身事故

〔年間被害者数〕

年 度	被害者数		
	うち死亡	うち負傷	
平成16年度	2	0	2
平成17年度	3	1	2
平成18年度	5	3	2
平成19年度	3	0	3
平成20年度	3	3	0
平成21年度	2	0	2
平成22年度	3	2	1
平成23年度	3	1	2
平成24年度	2	0	2
平成25年度	4	1	3
合 計	30	11	19

〔山菜採りの際に発生した事故の概要〕

年度	発生日	発生地	被害者	死傷
平成16年度	なし	—	—	—
平成17年度	なし	—	—	—
平成18年度	6月	新ひだか町	53才男性	死亡
平成19年度	なし	—	—	—
平成20年度	4月	北斗市	50才男性	死亡
平成21年度	なし	—	—	—
平成22年度	5月	むかわ町	73才男性	死亡
	6月	帯広市	66才女性	死亡
平成23年度	4月	上ノ国町	63才男性	死亡
平成24年度	なし	—	—	—
平成25年度	4月	せたな町	52才女性	死亡
	4月	新ひだか町	53才男性	負傷

※春の山菜取りの被害者数は7名で、うち6名が死亡

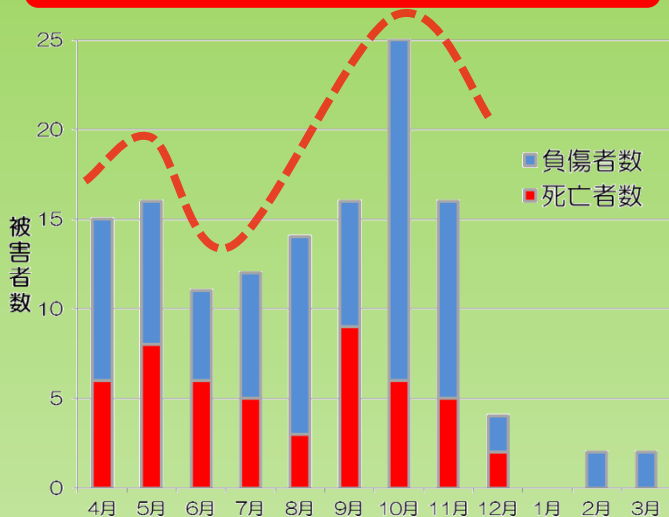
3. 過去10年間（H16～25）のヒグマ捕獲数及び目撃数

〔捕獲数・目撃数〕

区 分	捕獲数	目撃頭数 (道警調べ)
平成16年度	354	523
平成17年度	587	721
平成18年度	430	567
平成19年度	436	663
平成20年度	426	703
平成21年度	649	808
平成22年度	561	853
平成23年度	826	1,250
平成24年度	699	1,136
平成25年度	556 (速報値)	913

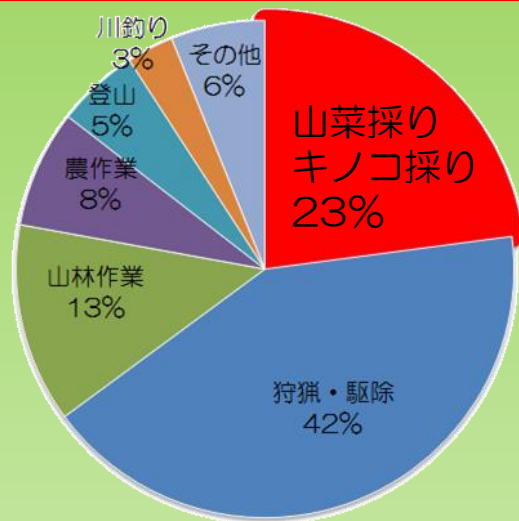
春はヒグマに注意！

人身被害は春と秋に多く発生！



ヒグマによる人身被害者数(S37~H25) 平成26年2月末現在

山菜採りは被害に遭いやすい！



被害発生時の被害者の活動(S37~H25)

平成26年

春のヒグマ注意特別期間 4月5日(土)~5月11日(日)

【あなたが被害に遭わないために】

- 事前にヒグマの出没情報を確認する
- 一人では野山に入らない
- 野山では音を出しながら歩く
- 薄暗いときには行動しない
- フンや足跡を見たら引き返す
- 食べ物やゴミは必ず持ち帰る

北海道環境生活部環境局生物多様性保全課

